

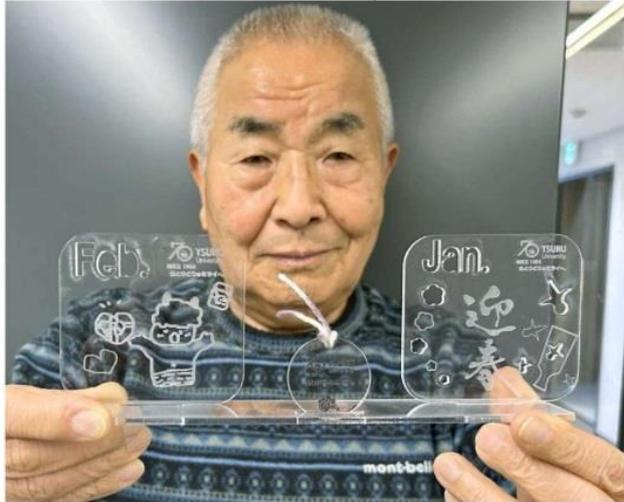
年 組 名前：



赤池 悠 武田 寛明 森航平(富士北麓)  
飯野 将平(大月上野原) 森 航平(都留)

### 都留文科大名誉教授が加工品

アクリルスタンドやコイン  
を手に持つ杉本光司さん  
—都留文科大



都留文科大名誉教授の杉本光司さん(74)は、新型コロナウイルス禍で感染防止のために使われていたアクリル板をコインやスタンドに加工し、新たな命を吹き込んでいます。同大の教員が海外出張する際のお土産などとして好評という、杉本さんは「作ったかいがあった」と喜んでいる。

## コイン、スタンドに

杉本さんは昨年7月ごろ、学内厚さ3mmでA4サイズのアクリルで感染対策のためのパーティションとして使われていたアクリル板を約100枚引き取った。活用が廃棄されると聞き、「素材としてのいいのではないかと」とらてきつと使い道がある」と考え、

〈森航平〉

# アクリル板 新たな命

カッターを使い、同大が今年創立70周年を迎えることを記念した直径約4cmの円形アクリルメダルを製作した。

出来栄が非常に良かったことから都留市のマスコットキャラクター「つるピー」のぬいぐるみの首に巻き、海外の大学に出張する同大教員に土産として持って行ってもらう、好評だったという。

杉本さんは他にもグッズを作ろうとアクリルスタンドを製作。学生と協力してアクリル板を加工し、こいのぼりや雪だるまなど、季節を表すイラストをデザイン。1〜12月の12カ月分のデザインを作った。同じ月でも複数のデザインがあり、自由に組み合わせることができるといふ。

現在は学生3人も製作に協力している。同大3年の小林南さんは「自分の好きなものを組み合わせる自由がデザインできる。大学生生活で形に残る何かを作りたいと思っていたのでうれしい」と喜ぶ。

今年から本格的に製作に取り組み予定で、アクリルスタンドを学内に設置し、興味を持った学生に参加を呼びかけることを計画している。杉本さんは「大学事務局とも相談しながら、食堂などさまざまな場所に設置していきたい。面白い企画なのでぜひ多くの学生に参加してほしい」と話している。

(2025年1月8日付 山梨日日新聞 17面)

### 問1

都留文科大名誉教授の杉本さんは、なにに使われていたアクリル板を加工していますか。

.....

### 問2

アクリル板から、なにを記念したメダルを製作しましたか。

.....

### 問3

あなたなら、アクリル板を使って、なにを製作してみたいですか。

.....